



チラシなしでも続々集客 在日フィリピン人の新築ブーム

フィリピン系移民の施主グループが年明けに日本人建築士の誕生パーティーを開くという話を聞いて茨城県土浦市に向かった。

乙戸沼公園そばのレストランで開催された誕生会。集まったのは、フィリピン人を中心に、タイ、ブラジル、ペルー出身の人々。日本国籍を取得して昨年新築住宅を建てた施主の会である。誕生会の主役は「シヤチョー」と慕われる色黒の日本人建築士。(有)ウッドゆう建築事務所(茨城県牛久市)の横張国弘さんである。ウッドゆう建築事務所では昨年25棟の住宅を手がけた。そのうち18棟は外国人だという。住宅の購入者は主に豆腐工場、パン工場、サラダ工場など100〜150人勤めている食品工場の労働者。工場や休日の教



(有)ウッドゆう建築事務所 横張国弘さん(右)
レイ・ベルサバル・サルノさん(左)

会で口コミで広がり今回の受注につながったという。

最初に住宅を購入したのはレイ・ベルサバル・サルノさん(43歳)。フィリピンのマニラで高校教師を勤めた後、22歳で結婚。セールスマネージャーを10年間務めて退職。富山県の木材会社で数カ月勤めた後、茨城県に移住。その後は電子機器メーカー等に派遣社員として勤務。小学校で英語教育をはじめたことをきっかけに英語教師を務めて6年。日本に移住して12年になる。

「レイさんのようなヨコのつながりのあるリーダーの信頼を得たことが成功につながっている」と語るのは、「全国工務店経営向上研究会」を運営する若松晃平氏。関東中心に25社の会員を持つ同研究会では、ローコスト住宅の営業ノウハウに加えて、新しい時代の企画住宅をあり方を模索していたところ、会員企業で飛躍的受注が伸びたことで新展開が見えてきた。口コミで神奈川や名古屋など他エリアでも引き合いが来ており、今後、コミュニティの新開拓を重要なテーマに据えて講習会を開催するなど会員工務店への支援に取り組みたいという。

(問合せ先) チカクリエイションズ

<http://www.chika-creations.com/system/>